東京工業高等専門学校		開講年度 令和04年度 (20		022年度) 括		授業科目	Comprehensive English (I)			
科目基礎	 替情報									
科目番号	4目番号 0169 科目区分 一般 / 選択									
授業形態		授業		単位の種別と	単位の種別と単位数		学修単位: 2			
		機械工学科		対象学年		5				
開設期		前期		週時間数		2				
教科書/教	材	_	トを配布します。							
担当教員	.	横溝 仁								
Science E English] 。この授業	二入学して対 nglish」、 では、担当 ぎの最終目標 Nコミュニク	「TOEIC Eng 教員の専門知詞 製は、社会人、	はこれまでに 「G ish」など、様々 銭を生かし、「英 専攻科生、大学生 身につけることで	Grammar and Writ な英語の授業を履修 語の学習成果の確認 Eとして恥ずかしく です。	ing」、「Liste してきました。 (既習事項の行 ない程度の「英	ening」 本科 ⁻ 复習) 語の技	」、「Oral Co で開講される! 」と「卒業後: 技術と教養」を	ommunica 最後の英語 を見据えた と修得し、	ation」、「Re 語の授業「Com ご英語力の強化 国際的に活躍す	eading」、「 nprehensive 」を図ります する技術者に
		理想的	な到達レベルの目	ファイス 標準的な到達	票準的な到達レベルの目安 到達レベ		ノベルの目安		未到達レベルの	の目安
評価項目1			内容を8割以上正?できる。	課題の内容をに理解できる	7割以上正確 。		の内容を6割以 解できる。	上正確	課題の内容を 確に理解する い。	
評価項目2		えで授 アクテ	で授業に臨み、授業内の 業に臨み、打 アクティヴィティで高い成 イヴィティー 民を発揮できる。 きる。		ったうえで授 業内のアクテ 成果を発揮で	毎回最低限の予習を行っ うえで授業に臨み、授業 のアクティヴィティであ 程度の成果を発揮できる		授業内である	ははア首とりに投業に脳の	
評価項目3		定期証 等の合 る。	期試験、小テスト、課題 定期試験、小の合計点が80点以上であ 等の合計点が		テスト、課題 70点以上であ	定期試験、小テスト、課題等の合計点が60点以上である。		、課題 以上であ	定期試験、小テスト、課題 等の合計点が60点未満で ある。	
学科の到	達目標項	目との関係								
教育方法	 等									
概要		ディスカッ	ションを行い、こ	野資料(新聞記事、) コミュニケーションの	エッセイ、ネッ の基盤となる「	ト動画 論理的	」、映画作品、]思考力」、「	音楽作品 批判的思	など)について 考力」、「想像	こグループ・ 象力(創造力
授業の進め	様々なトピックに関する英語資料(新聞記事、エッセイ、ネット動画、映画作品、音楽作品など)についてグループ・ディスカッションを行い、コミュニケーションの基盤となる「論理的思考力」、「批判的思考力」、「想像力(創造力)」を鍛える。 1. Quiz & Small Talk (Pair work) 2. Short Lecture 3. Discussion (Group work) 4. Reaction Paper ・受講者の学習到達度に鑑みて、適宜授業進度、授業内容を変更する場合がある。・受講者数により、授業内容・形式を変更する場合がある。・その他の注意点については初回授業等で周知する。 D属性・履修上の区分									
注意点		・受講者数	により、授業内容	₹・形式を変更する5	湯合がある。	更する	3場合がある。			
授業の属	は・履修	上の区分								
☑ アクテ	ィブラーニ	ング	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対	讨応		□実	務経験のある教	減による授業
授業計画	<u> </u>	I. I.				1.				
			業内容		1. 1. *	週こ	ごとの到達目標	票		
	1stQ			Comprehensive Er	nglish I_	=m=	苗 / 苯钴次则 \			
			OPIC1 テスト#1				図(矢詰貝科) 奥できる。	の内合を	と正確に理解し、	. 他有乙总兄
			OPIC2 テスト#2			課題(英語資料)の内容を正確に理解し、付 交換できる。			、他者と意見	
		4週 T	OPIC3 テスト#3		課是	 !題(英語資料)の内容を正確に理解し、他者と !換できる。			 、他者と意見	
			OPIC4 テスト#4			課題(英語資料)の内容を正確に理解し、他者と意見 交換できる。				
			OPIC5 テスト#5		交拉	課題(英語資料)の内容を正確に理解し、他者と意 交換できる。				
		/逈	OPIC6 テスト#6			課題(英語資料)の内容を正確に理解し、他者と意見 交換できる。			、他者と意見 	
前期		т	·間試験 OPIC7			===	斯 (苯氨多數)	の中容を	ここでは、田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	
133743			ラスト#7			交換	図(英語具件) 奥できる。	の内合を	:正確に理解し、	、他有C总兄
	2ndQ	10週 小	OPIC8 テスト#8		交担	奐できる。				
		11週 小	OPIC9 テスト#9		交担	奐できる。		こ正確に理解し、		
		12週 小	OPIC10 テスト#10 OPIC11		交担	奥できる。		ご正確に理解し、 		
			テスト#11			課題(英語資料)の内容を正確に理解し、他者と意見 交換できる。				
			OPIC12 テスト#12		交担	奐できる。		こ正確に理解し、		
		15週 ま	ことめ		課題交換	題(英語資料) 奐できる。	の内容を	と正確に理解し、	. 他者と意見	
		16週 期	末試験							

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標										
分類 分野			学習内容	学習内容の到達目標	学習内容の到達目標			授業週		
基礎的能力		英語	英語運用能 力の基礎固 め	日常生活や身近な記りとした発音で話るきる。	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。			前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16		
	人文・社会 科学			〒 武明 物語はとの2	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる ように音読ができる。			前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16		
				平易な英語で書かれ を読み取ることがで	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。			前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15,前16		
評価割合						T				
試験/レポー		試験/レポート	\ /	トテスト	課題	その他	合計			
総合評価割合 5		50 2		20	15	15	100			
基礎的能力 5		50		20	15	15				
専門的能力C		0)	0		0			
分野横断的能力		0)	0 0		0			